

いま、なぜ、どのように 戦争記憶を研究するか

戦後80年を迎える今日、戦争の記憶は世代間継承を考える必要に迫られている。一方、ホロコースト、原爆、南京大虐殺などは、戦争記憶のシンボルとして国境を越えて流通してきたが、そこに込められる意味は多様化している。家族内の記憶継承とシンボル化した記憶の双方に着目し、戦争記憶が世代を超えて人々に浸透し、社会に影響を与えるメカニズムを、歴史学、人類学、文学、心理学といった手法の協働と国際比較の視点から考える。

3月28日 「原爆トラウマの世代連鎖」

原森泉さん（キミコ・ピースカフェ代表）お話し、平尾直政さん（きのこ会）
映像鑑賞 *参加制限あり。詳細は別のポスターを参照して下さい

3月29日 10:00～12:00

講演 「集合的記憶論のある位相—いま起きている戦争や
虐殺のなかから考える」（ZOOM配信あり）

岩崎稔さん（東京外国語大学名誉教授）

* ZOOM配信希望の方は3月26日までに登録して下さい⇒



13:30～16:30 総合討論（対面のみ）

【会場】広島大学東千田キャンパス未来創生センター、M204教室